



イチゴのハダニ類防除を徹底しましょう!

茨城県病害虫防除所では、12 月中旬現在ハダニ類による被害葉率が平年よりやや高い～高くなっていることから、12 月 23 日付で病害虫速報 ([sokuhour7-7.pdf](#)) を発表し注意を喚起しています。

ハダニ類(写真 2、3)は葉裏に多く寄生し、高温乾燥条件により増殖が速まります。ルーペ等でイチゴの葉裏をよく観察し、早期発見・早期対策を取ってください。

写真 2、3：茨城県病害虫防除所



写真 1 葉の被害



写真 2 ナミハダニ雌成虫

(体長 0.6mm 位)



写真 3 ナミハダニ幼虫

(体長 0.2mm 位)

防除対策

- 1 ハダニ類は増殖が速く、多発すると防除が困難となるため、発生の少ないうちに防除を徹底する。
- 2 天敵導入圃場では、ハダニ類や天敵の生息状況等をよく観察し、ハダニの発生を認めたら必要に応じて天敵の追加放飼を検討する。
- 3 薬剤散布は、薬液が葉裏や葉柄にもよくかかるよう十分な量で丁寧に行う。また、気門封鎖剤以外については、薬剤抵抗性の発達を抑えるため、下表を参考に IRAC コードの異なる薬剤をローテーション散布する。
- 4 ミツバチや天敵を使用している場合は、薬剤の影響日数等に十分注意する。



表 イチゴ ハダニ類の主な防除薬剤

(令和 7 年 12 月 26 日現在)

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
アフーム乳剤	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	2 日	6
カネマイトフロアブル	1,000～1,500 倍	収穫前日まで / 1 回	○	20B
グレーシア乳剤	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日	30
コテツフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	10 日	13
コロマイト水和剤	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日	6
サンヨール	500 倍	収穫前日まで / 6 回以内	○	—
スターマイトフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日	25A
ダニオーテフロアブル※	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	○	33
マイトコーネフロアブル	1,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日	20D
粘着くん液剤	100 倍	収穫前日まで / —	1 日	—

注 1) ミツバチ※は、ミツバチへの影響の目安を茨城県病害虫防除指針(令和 7 年版)及び農業メーカー資料より抜粋しました。

○は薬液が乾けば影響なし、その他は影響日数を記載したが、天候、施設内の環境条件により日数が前後することがあり、注意が必要です。

注 2) 分類欄には、IRAC コードを記載しました。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

- ※：防除効果が低下するおそれがあるため
- (1) 銅剤との混用はさける。
 - (2) 本剤を散布した後に銅剤を使用する場合は 10 日以上散布間隔を空ける。
 - (3) 銅剤を散布した後は本剤の使用をさける。



- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用してください。
- 営農 News は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。